

ピンチヒッター・森本の中国通信

秋・老・虎！？

いつもお世話になります。



9月末に一週間ほど廈門に出張に行っておりました森本です。

毎年この時期に出張に行くのが定例行事になっているのですが、少し秋らしくなり始めた大阪とは違い、今年の廈門はまだまだ真夏のようなようでした。

上の写真をご覧ください。廈門では珍しい青空だと思いませんか？

我々が工場に行ったときには写真のような原石置き場をぐるぐる回って、ああだこうだ言いながら石を確認するのですが、流石にこのピーカン（死語）

の下では歩き出した途端にもう全身から汗が噴き出るわけです。普段あまり身体を動かさない生活を送っているため、汗腺はあんまり活発でないはずなのですが、「あれ？こんなに大量の水飲んだっけ？」っていうくらい頭のとっぺんから汗がしたたり落ちてきます。

一緒に回っていた中国人の同僚に「もう9月なのに暑いねえ、毎年こんなに

暑かったっけ？」と尋ねると、彼はスマホ見て、

「暑いはずだわ、今日の予想気温37度だって（笑）」

と、微笑みながら教えてくれました。

続けて、「大丈夫。明日から曇りだから涼しくなるみたい。・・・・あれ？

でも、またこの週末から“熱波”だって（笑）」

・・・・熱波ってなんですか？ 9月の末に熱波って・・。厦門は緯度的には那覇よりさらに南にあるので、間違いなく暑いのは頭ではわかっているけど、なかなか体がついてきてくれません。

別の日に、中国の会社の方と天気の話になったときに教えてもらったのが、

今回のタイトル **“秋老虎”** です。

そのまま日本語に訳すと「秋の虎」、オータムタイガーです。中国では、『暦の上では秋なのに、非常に暑い日が続くこと』を“秋老虎（チウラオフー）”と呼び習わしているそうです。なかなか言いえて妙な表現ですよ、秋の虎。もう秋だし満月でも鑑賞しようとしたところに、草陰から急にガオー、って飛び出してくる感じがします。

さて話はかわって、今年前半から猛虎の如く福建省を席卷していた件の環境保護政策ですが、厦門サミットが終わって、ひとまず小休止といった様子です。現場の方と話していると「台風一過、これで落ち着いて仕事ができるよ」という声もありますが、ちょっと偉い立場の方に伺うと、「まだまだ

安心はできませんね。むしろこれからが本格的な規制のスタートですよ」と警戒されている感じです。曰く、今後石材工場を操業できる地区はどんどん狭まってくるだろうし、工場ごとに騒音・排水・粉塵の具体的な数値が明確化されてくるだろう、とのこと。今年中には石材業界に対して何らかの通知があるかもしれない、とのことですので近いうちにまた報告させていただきます。

最後に、今回見かけたネタを一つ。



この写真は、崇武で見かけた風景なのですが、「あれ？ あの停車している車の中から手を振ってる人いる？」と、近づいてみると・・・



ババァン！

“**習近平主席**”（を模したサンシェード）ではないですか！日本では習主席のこんな笑顔、ほとんど見たことないですね。

後部座席には最近アマゾンの時価総額を超えたと話題になっていた**アリババ**集団の“**馬雲（ジャック・マー）氏**”が、道行く人に愛想を振りまいています（というサンシェード）。

日本人からすると中国共産党と言えば「怖い・厳しい」という印象を抱きがちかと思いますが、なんというか民衆のたくましさあふれるユーモアを垣間見た気がします。もし公安に見つかりと怒られちゃうかもしれませんが……。

今月は以上です。また来月のメルマガもご期待くださいませ。

2017/11/1 森本